

平成 30 年度
山内図書館事業計画書

有隣堂グループ

2018/03

目 次

1. 施設と図書館の概要	2
2. 指定管理者	2
3. 山内図書館のコンセプト	3
4. 5年間の達成目標	3
5. 山内図書館の現状と課題	3
6. 平成30年度の事業計画	4
7. 収支予算書	9

1. 施設と図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体4433.28㎡)
延床面積	2147.22㎡
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、身障者用1台)

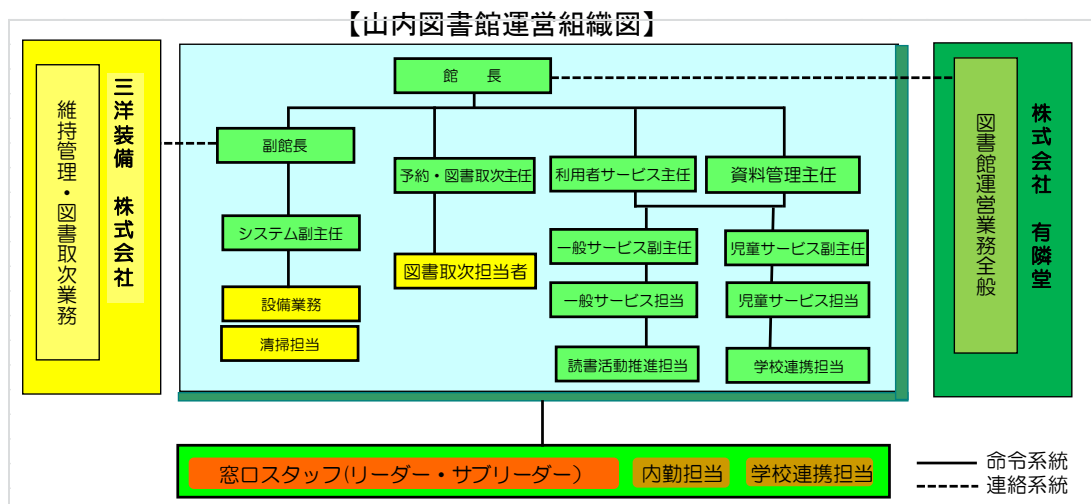


山内図書館は、昭和52年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(197,258冊 平成29年3月末)と規模の大きい図書館です。平成22年度から有隣堂グループを指定管理者とする管理運営が行われており、平成27年度から平成31年度の期間も引き続き有隣堂グループによる指定管理運営を行います。

2. 指定管理者

名 称	有隣堂グループ
所 在 地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代 表 団 体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信裕
構 成 団 体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生宣昭
指 定 期 間	平成27年4月1日～平成32年3月31日

指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務を始め、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。



3. 山内図書館のコンセプト

“地域”をサービスフィールドに！

生活密着図書館「Liferary」

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」のもとで「地域連携」という新たな課題が示されました。平成27年度から平成31年度の5年間は、積極的に地域との連携を図ります。民間ノウハウ・民間能力を十分に発揮し、インパクトのある事業の創出や、チャレンジ感あふれる取り組みを実践し、地域に根ざしたサービスの拡充に努めます。

4. 5年間の達成目標（平成27年4月～32年3月）

指定管理の実施により達成すべき目標は以下の3つです。

- (1) 地域の読書活動を推進し、読書活動を通じた“まちづくり”“ひとづくり”を進める。
- (2) 地域の情報拠点機能を強化し、地域の要望に応えられる蔵書構成に努め、暮らしに役立つ情報の収集・提供を行う。
- (3) 利用しやすい図書館づくりを促進する。

5. 山内図書館の現状と課題

(1) 青葉区民読書活動推進目標

平成26年度の「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」の施行、「横浜市民読書活動推進計画」の策定を踏まえ、区の地域性に応じて読書活動の推進を図るために、青葉区では平成26年10月に「青葉区民読書活動推進目標」が策定されました。平成30年度も、青葉区役所や市民利用施設、市民ボランティア等と協力して、目標に沿った取り組みを積極的に進めていくことが求められています。

また、平成30年度は、「第二次横浜市民読書活動推進計画」の策定に入ることから、青葉区の目標も、見直しの準備をすすめていく必要があります。

(2) 利用状況

	入館者数	貸出冊数 (貸出延長を含む)	予約受付 冊数	新規登録者 数	自主企画事 業参加者数	備考
平成21年度	540,679	811,662	215,108	7,043	2,669	
平成22年度	549,059	787,102	209,207	6,786	3,446	有隣堂グループによる指定管理制度導入
平成23年度	549,568	754,159	206,625	6,115	4,435	
平成24年度	560,787	719,596	※164,201	5,945	4,718	
平成25年度	562,329	658,182	※36,547	5,912	4,469	
平成26年度	551,121	654,164	※33,720	5,921	4,868	
平成27年度	543,330	654,705	※32,924	5,890	5,241	
平成28年度	535,242	642,412	※32,686	6,164	5,564	

※平成25年1月以降はインターネットによる予約を含まない

新規登録者の減少が課題となっていました。平成28年度は6年ぶりに新規登録者が増加しています。読書活動推進事業等による未利用者の来館促進などの効果が現れたものと考えられます。しかしながら、貸出数は減少が続いており、引き続き入館者数および貸出数の増加をめざすことが課題と考えます。

(3) アンケート

平成24～27年度は、山内図書館の来館者を対象として利用者満足度（CS）調査を実施しました。平成28年度は、非来館者の意見を収集して、山内図書館の運営に反映させることを目的として、区内地区センター利用者を対象としたアンケートを実施しました（平成29年3月）。山内図書館を利用しない理由としては、「遠い・アクセスが不便」、「本は自分で買う」、「他の図書館を利用」、「図書取次サービスを利用」、「駐車できる台数が少ない」等があがりました。要望としては、「駐車場の拡充」、「返却ポストの増加」、「専門書の増加」、「高齢者向けの企画」、「コミュニケーションの場としての機能強化」、「図書館としての個性の発揮」、「学生の学習スペースの設置」、「児童書の増加」等があがりました。

(4) 利用者フォーラム

山内図書館への意見や提案を運営に反映するために、年2回利用者フォーラムを開催しています。従来のボランティア等のメンバーに加え、平成27年度からは、地域に密接な関わりを持つ銀行やスーパーマーケットの関係者などにもフォーラムに参加してもらいました。

平成29年度のフォーラムでは以下のアイデアが出されました。

- ・ ホームページで公開している青葉区風景データベースの拡充。
- ・ 講演会等の記録を見ることができるようにする。参加した人以外にも、その内容が分かるものを残してもらえるとありがたい。区民のポータルサイト「あおばみん」映像アーカイブを利用することもできるのではないかな。
- ・ 山内図書館には授乳室があり、子育て世代を応援できる態勢が整っているが、そういうことをもっとアピールしてもよいのではないかな。
- ・ 特別なことだけではなく、常設のサービスについて知らせるようにしてもよいかもしれない。それは、図書館のイメージアップにもつながる。
- ・ あざみ野商店街や江田駅周辺商店街とコラボして、図書館に足を運んでもらうような企画を立てる。
- ・ 図書館を利用しない人の意見を集約する。
- ・ ディサービス施設等への貸出も考えてもよいかもしれない。
- ・ 高齢者のために、フォントの大きい文庫本をそろえてほしい。

6. 平成30年度の事業計画

(1) 平成30年度の運営目標

山内図書館における平成30年度指定管理業務の実施については、横浜市立図書館において毎年策定される「横浜市立図書館の目標」及び「年間資料収集計画」等に基

づき、横浜市立図書館の18館のうちの1館として従来水準を維持し、さらに向上させながら他の地域図書館と同様にネットワーク体制を支えるサービスを展開します。

平成30年度は「青葉区民読書活動推進目標」を見直す年度となっています。青葉区役所や区内各施設と協力して、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の人のびとが、豊かな読書活動を行うことができる目標を設定していきます。

目標設定の視点	平成30年度運営目標	平成30年度 管理指標・数値
ア 利用者 サービス	(ア)区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携して地域の読書活動を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターまつり等への事業協力 2回 ・読書ボランティアを対象とした読み聞かせ連続講座 1回 ・地域との連携事業 15回※¹ ・学校連携事業 150回※²
	(イ)読書活動推進のために区内の読書活動拠点のネットワークを構築します	<ul style="list-style-type: none"> ・読書関係団体交流会（青葉区役所との共催） 1回 ・地区センターや地域ケアプラザ等区内における読書活動の支援 2回 ・読書活動イベントカレンダーの作成継続 年12回
	(ウ)集会室のリニューアルによるおはなし会の環境整備を行います	<ul style="list-style-type: none"> ・壁紙とカーペットの交換 ・名称募集
	(エ)展示スペースを拡大します	<ul style="list-style-type: none"> ・児童コーナーに児童・生徒の作品展等、学校連携事業を中心に活用できる展示スペースを作成
	(オ)ティーンズ向けサービスを充実させます	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生向けワークショップ（青葉区役所こども家庭支援課との共催事業） 2回 ・ティーンズ向けホームページの更新
	(カ)市民の必要とする情報を収集するとともに、課題解決の支援を行います	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決支援自主企画事業 10回
	(キ)来館された体の不自由な方の利用を支援します	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の購入 1台 ・朗読CDの購入 5枚
	(ク)読書や地域に関する情報を幅広く発信していきます	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新促進（未更新コンテンツの確認） ・ホームページ、SNSによる開催講座の内容紹介 8回
イ 業務運営	(ア)コンプライアンスの徹底を図り、利用者満足度の向上に努めます	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修 1回 ・コンプライアンス内部監査 1回 ・人権研修 1回

	(イ)危機管理、安全衛生管理を徹底し、安心・安全な図書館をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ・事件・事故を想定した危機対応研修 1回 ・地区センターとの合同防災訓練 1回
	(ウ)個人情報保護の考え方をスタッフ全員に周知徹底し、個人情報 を適正に管理します	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護教育 2回 ・個人情報内部監査 1回
ウ 職員育成	(ア)スタッフへの教育・研修を実施し、能力向上・意欲の維持向上に努めます	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベース研修 1回 ・接客研修 1回 ・アルバイト向け修理講座 1回
エ 財務	(ア)予算内に経費を抑え、効率的に管理します	・山内堂の売り上げ5%増(29年度売り上げ見込み20万円)

※1 別紙1：平成30年度自主企画事業年間計画表

※2 別紙2：平成30年度山内図書館学校支援年間計画表

(2) 平成30年度の具体的な取り組み

ア 利用者サービス

(ア) 地域の読書活動推進

- ・区内の市民利用施設と協力して読書活動の推進を図ります。
- ・青葉区役所こども家庭支援課との協力体制を維持します。読書活動推進事務局会議を毎月開催します。
- ・「青葉区民読書活動推進目標」の見直しを行います。
- ・読み聞かせボランティア希望者を対象とした、「読み聞かせ講座」(全3回)を開催して、ボランティアを育成します。
- ・児童・生徒の図書館見学や職業体験、インターンシップ、ボランティアを受け入れ、図書館の仕事を体験してもらいます。
- ・学校図書館ボランティアや学校司書を対象に修理・製本、読み聞かせ、環境整備に関する講座を開催します。教職員を対象に読書活動や学校図書館の環境整備に関する相談に応じます。
- ・読書のコツや楽しみ方をまとめたツール『Life with Reading』(慶應義塾大学井庭崇研究室と株式会社有隣堂の共同開発ツール、「創造的読書」の考え方を言語化し、27個の言葉にまとめたもの)を用いて、山内図書館や区内の施設で講座を開催します。幅広く『Life with Reading』を活用してもらうことにより、読書を題材としたコミュニケーションを活発化し、創造的読書を促進することをめざします。

(イ) 読書活動拠点のネットワークを構築

- ・「読書活動団体交流会」を青葉区こども家庭支援課と共催します。図書貸出施設の担当者、読み聞かせボランティア、学校司書等が集まり情報共有および交流をすすめる会とします。

- ・各施設で開催する読書関連事業情報を山内図書館で収集し作成する「読書カレンダー」を毎月作成します。作成したカレンダーは、館内の読書活動インフォメーションコーナーに掲示するとともに、山内図書館および青葉区役所のホームページに掲載します。

(ウ) おはなし会の環境整備

- ・おはなしの部屋の名前を公募し、現「集会室」から親しみやすい名前に変更します。
- ・壁紙と床材を一新し、明るい部屋にリニューアルします。

(エ) 展示スペースの拡大

- ・児童コーナーの壁面を改修し、展示スペースを作成します。主に学校連携事業に使用し、児童・生徒の作品展示等を行う予定です。

(オ) ティーンズ向けサービスの充実

- ・青葉区役所こども家庭支援課との共催により、ティーンズ向けのワークショップを開催します（年2回）。
- ・ホームページの「ティーンズページ」の更新を定期的に行います。ティーンズ自身から情報を引き出し、コンテンツに反映させていきます。

(カ) 課題解決の支援

- ・夏休みに、子ども向けの科学あそびの講座を開催します。
- ・日本経済新聞社に講師派遣を依頼し、「新聞の読み方講座」を開催します。
- ・引き続き土日祝日に案内係を配置し、各窓口への案内をするとともに、検索機の使い方や本の配架場所をお伝えします。

(キ) 体の不自由な方への配慮

- ・車椅子を導入し、高齢の方や体の不自由な方の利用を支援します。
- ・障がい者支援の一環として、朗読CDを追加購入して提供します。

(ク) 幅広い情報発信

- ・未更新のコンテンツを選別して更新をかけ、ホームページの刷新を図ります。
- ・ホームページ、ブログ、ツイッター、メールマガジンを使い、それぞれの特徴を活かした情報発信をします。
- ・ホームページ、ブログ等で開催した講座の内容や資料の一部を掲載します。
- ・区内読書活動拠点のネットワークを用いて、図書館事業の広報を行います。

イ 業務運営

(ア) コンプライアンスの徹底

- ・コンプライアンスの内部監査を実施し、法令遵守と倫理の徹底を図ります。職員は、有隣堂のエシックスカードを常時身に着け行動します。また、年度当初に企業行動指針を基にしたコンプライアンス研修を実施します。
- ・ホームページ、展示などで積極的に山内図書館の運営情報（「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「図書館利用者満足度調査報告書」「セルフモニタリング」「横浜市山内図書館指定管理者運営評価報告書」）を公開して

いきます。

(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底

- ・職員会議を毎週開催し、図書館運営上の課題を話し合い改善していきます。
- ・職員とアルバイトスタッフの代表で月1回ミーティングを行い、安全衛生を中心とした課題を話し合い、解決していきます。
- ・「災害対応マニュアル」と「事件・事故防止及び対応マニュアル」を更新し、スタッフに周知します。
- ・併設の山内地区センターと合同で防災訓練を実施します。
- ・山内図書館、山内地区センターと施設管理者の3者ミーティングを年4回行い、危機管理の情報共有を行うとともに課題解決に向けた話し合いを行います。

(ウ) 個人情報保護の適正管理

横浜市立図書館個人情報保護に関する方針及び有隣堂個人情報保護方針に基づき個人情報の収集・利用・管理について、適切な維持管理を行います。

- ・有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査 年1回
- ・個人情報棚卸（リスクチェックとプロセス分析およびリスク対策） 年2回

(エ) その他

- ・有隣堂本部と館長による職員及びアルバイトの評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげます。
- ・建築物・建築設備ともに保守管理実施予定表（別紙3）に基づき点検を実施します。積極的な保守管理を行い、異常が発生する前の予防保全を行っていきます。
- ・「総括表」の点検入力表「建築」「電気」「機械」の点検結果に基づき、優先順位をつけ、計画的な修繕を実施します。
- ・清掃・環境衛生管理 業務水準どおり適切に維持管理を行い、トイレの仕上げ、巡回清掃に重点をおき美観を保持します。

ウ スタッフ育成

(ア) スタッフへの教育・研修

- ・職員とアルバイトのスタッフ全員を対象とした下記研修を実施し、カウンターにおける対応の向上を図ります。
 - ①接遇（4月）
 - ②個人情報保護（年2回）
 - ③コンプライアンス研修（4月）
 - ④人権研修（10月）
 - ⑤危機管理研修（12月）
- ・職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会等主催の研修に参加し、それぞれの専門性を向上させます。

エ 財務

(ア) 効率的な管理

- ・予算内に経費を抑え、効率的に管理します。

(イ) その他

- ・山内堂は自主企画事業と連動した書籍・物品や、郷土関連書籍等、利用者のニーズを捉えた商品を揃えて売り上げを維持します。

7. 予算案（平成30年度収支予算書）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	176,350,100		176,350,100		176,350,100	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	210,000		210,000		210,000	平成29年度見込みの5%up
自主事業収入			0		0	
雑入	500,000	0	500,000	0	500,000	
自動販売機手数料等	500,000		500,000		500,000	
その他（ ）			0		0	
収入合計	177,060,100	0	177,060,100	0	177,060,100	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	80,730,000	0	80,730,000	0	80,730,000	
給与・賃金	68,600,000		68,600,000		68,600,000	最低賃金up
社会保険料	7,370,000		7,370,000		7,370,000	最低賃金up
通勤手当	4,500,000		4,500,000		4,500,000	
健康診断費	260,000		260,000		260,000	
事務費	3,979,100	0	3,979,100	0	3,979,100	
旅費	150,000		150,000		150,000	29年度実績を見て
消耗品費	1,370,100		1,370,100		1,370,100	
通信費	600,000		600,000		600,000	
使用料及び賃借料	12,000		12,000		12,000	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
雑誌・新聞購入費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
施設賠償責任保険	120,000		120,000		120,000	
職員等研修費	27,000		27,000		27,000	29年度実績を見て
事業費	11,536,800	0	11,536,800	0	11,536,800	
自主事業費	4,800,000		4,800,000		4,800,000	
自主事業費（図書取次サービス）	6,736,800		6,736,800		6,736,800	人件費（最低賃金）up
管理費	54,274,200	0	54,274,200	0	54,274,200	
光熱水費	22,143,000	0	22,143,000	0	22,143,000	
電気料金	12,000,000		12,000,000		12,000,000	
ガス料金	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
水道料金	5,143,000		5,143,000		5,143,000	
清掃費	10,076,400		10,076,400		10,076,400	
修繕費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械警備費	864,000		864,000		864,000	
設備保全費	18,490,800	0	18,490,800	0	18,490,800	
空調衛生設備保守	2,289,600		2,289,600		2,289,600	
消防設備保守	280,800		280,800		280,800	
電気設備保守	2,067,200		2,067,200		2,067,200	
害虫駆除清掃保守	124,200		124,200		124,200	
建築設備保全費	12,757,000		12,757,000		12,757,000	
その他保全費	972,000		972,000		972,000	
共益費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	その他施設改修等
公租公課	6,540,000		6,540,000		6,540,000	
事務経費	20,000,000		20,000,000		20,000,000	
支出合計	177,060,100	0	177,060,100	0	177,060,100	
差引	0	0	0	0	0	